

『消防設備士第7類 令和6年版』に関する お詫びと訂正のご案内

『消防設備士第7類 令和6年版』の記載内容に誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正いたしますので、お手持ちの本書の該当箇所に加筆訂正をお願いします。

ご迷惑をかけして大変申し訳ございません。
よろしくお願い申し上げます。

初 版

P13 更新：[2024.6.13]	削除	<table border="1"><tr><td>(12)</td><td><input checked="" type="checkbox"/> イ</td><td>工場又は作業場、冷凍倉庫を含む作業場</td></tr><tr><td></td><td><input type="checkbox"/> ロ</td><td>映画スタジオ又はテレビスタジオ</td></tr></table>	(12)	<input checked="" type="checkbox"/> イ	工場又は作業場、 冷凍倉庫を含む 作業場		<input type="checkbox"/> ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ
(12)	<input checked="" type="checkbox"/> イ	工場又は作業場、 冷凍倉庫を含む 作業場						
	<input type="checkbox"/> ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
P27 更新：[2024.5.13]	②を追加 (それに伴い番号を訂正)	<p>■2. 従前の規定が適用されない消防用設備等</p> <p>◎法第17条の2の5 1項において、次に掲げる消防用設備等は、消防用設備等の技術上の基準に関する従前の規定を適用しないものとする（令第34条など）。</p> <ul style="list-style-type: none">①簡易消火用具②不活性ガス消火設備（全域放出方式のもので省令で定める不活性ガス消火剤（二酸化炭素）を放射するものに限る。）（不活性ガス消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準であって省令で定めるものの適用を受ける部分に限る。）③自動火災報知設備（特定防火対象物などに設けるものに限る。）④ガス漏れ火災警報設備（特定防火対象物などに設けるものに限る。）⑤漏電火災警報器⑥非常警報器具及び非常警報設備⑦誘導灯及び誘導標識⑧必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等であって、消火器、避難器具及び①～⑦の消防用設備等に類するものとして消防庁長官が定めるもの						
P29【1】 更新：[2024.07.19]	誤	<p>【1】消防用設備等の技術上の基準に関する政令若しくはこれに基づく命令の規定が改正されたとき、改正後の規定に適合させなければならない消防用設備等として、消防法令上、正しいものは次のうちどれか。【★】</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>4. 図書館の蔵書室に設置されている二酸化炭素を放射する不活性ガス消火設備</p> <p>【1】消防用設備等の技術上の基準に関する政令若しくはこれに基づく命令の規定が改正されたとき、改正後の規定に適合させなければならない消防用設備等として、消防法令上、正しいものは次のうちどれか。【編】 【★】</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>4. 図書館の蔵書室に設置されている窒素を放射する不活性ガス消火設備</p>						
	正							

P101 更新：[2024.04.30]	誤	【7】正解2 1. 法令では、[壁] [床] [天井] について定めているが、[屋根] は漏電火災警報器の設置基準として定めていない。
	正	【7】正解2 2. 法令では、[壁] [床] [天井] について定めているが、[屋根] は漏電火災警報器の設置基準として定めていない。
P150 更新：[2024.04.30]	誤	【3】正解3 右の並列部分の合成静電容量は、 $6 \mu\text{F} + 2 \mu\text{F} = 8 \mu\text{F}$ となる。 合成静電容量Cは次のとおりとなる。 $\frac{1}{C} = \frac{1}{8} + \frac{1}{8} = \frac{2}{8} + \frac{1}{4} \Rightarrow C = 4 \mu\text{F}$
	正	【3】正解3 右の並列部分の合成静電容量は、 $6 \mu\text{F} + 2 \mu\text{F} = 8 \mu\text{F}$ となる。 合成静電容量Cは次のとおりとなる。 $\frac{1}{C} = \frac{1}{8} + \frac{1}{8} = \frac{2}{8} = \frac{1}{4} \Rightarrow C = 4 \mu\text{F}$
P153 【例題2】 更新：[2024.06.13]	誤	$n = 1 + \frac{R_S}{r} = 1 + \frac{99.95 \times 10^3}{50} = 2000 \text{ 倍}$
	正	$n = 1 + \frac{\textcolor{red}{R_m}}{r} = 1 + \frac{99.95 \times 10^3}{50} = 2000 \text{ 倍}$
P200 更新：[2024.10.15]	誤	【6】 漏電火災警報器の変流器に関する次の記述のうち、適當なものの組合せはどれか。 (略) イ. 電線貫通孔は、警戒電路が単線2線式の場合は2本、三相あるいは単相3線式の場合は、3本の電線あるいは、変圧器のA種接地線を挿入する。
	正	【6】 漏電火災警報器の変流器に関する次の記述のうち、適當なものの組合せはどれか。 (略) イ. 電線貫通孔は、警戒電路が 単相2線式 の場合は2本、三相あるいは単相3線式の場合は、3本の電線あるいは、変圧器のA種接地線を挿入する。
P200 更新：[2024.10.15]	記号を訂正	【7】 警戒電路で地絡点に漏洩電流が流れ、変流器の鉄心に磁束 ϕg [Wb] が作用するとき、変流器の検出用二次巻線に発生する誘起電圧の実効値 E [V] について、正しいものは次のうちどれか。ただし、 f は周波数 [Hz]、 N は二次巻線の巻回数 [回]、 ϕg は磁束 [Wb] とする。[★] <input type="checkbox"/> 1. $E = \sqrt{4.44 f N \phi g}$ <input type="checkbox"/> 2. $E = 4.44 f N \phi g$ <input type="checkbox"/> 3. $E = \frac{4.44 N \phi g}{f}$ <input type="checkbox"/> 4. $E = \frac{f N}{4.44 \phi g}$

P225	誤 更新：[2024.06.13]	<p>【2】正解1</p> <ol style="list-style-type: none"> 「1.0mm以上」⇒「1.6mm以上」。 変流器の二次側架空配線は、IVが2.0mm以上（原則として硬鋼線）、VVが1.0mm以上と定められている。
P227	誤 更新：[2024.04.24]	<p>【2】正解1</p> <ol style="list-style-type: none"> 「1.0mm以上」⇒「1.6mm以上」。 変流器の二次側架空配線は、IVが2.0mm以上（原則として硬銅線）、VVが1.0mm以上と定められている。
P227	正	【5】正解3

初版 二刷

P309	矢印追加 更新：[2025.1.23]	<p>【6】写真は漏電火災警報器の点検時に使用する器具を示したものである。次の各設問に答えなさい。</p> 
------	------------------------	--